

宮代町防犯のまちづくり推進協議会 第1回会議記録

◇日時 平成29年8月17日(木) 14:00～15:30

◇場所 役場202会議室

◇出席者

委員 上田悟、稲山實、戸邊靖之、會田知子、籠宮賢治、元木里子、鈴木保弘、森山洋子、寺嶋毅、林祐司、中川定雄、青柳英司、新井一男、島村誠、高橋司
以上15名

(欠席者：梅澤重子、西浦大治郎、星喜助、中村一成、鬼山清)

事務局 井上正己、小川英一郎、小林賢吉、田代宇隆、金子尚子

◇傍聴者 0名

◇会議概要

1. 防犯のまちづくり推進協議会について

⇒資料1に基づき、事務局より説明を行いました。

2. 最近の犯罪状況について

⇒杉戸警察署生活安全課長戸邊氏より説明がありました。

〈犯罪情勢〉

- ・被害届は前年に比べると約170件減少している。
- ・宮代町では自転車盗が多い。
カギがかかっていない自転車がも多く被害に遭っている。カギがかかっていたら件数も大幅に減る。カギは必ずかけるなど防犯対策に努めて欲しい。
- ・子どもへの声かけ事案が今年は5件あった。子どもたちや保護者から連絡を受けたらすぐに警察へ通報して欲しい。
- ・女性に対して、つきまとい、声かけ、身体を触る等をする不振者が出没している。被害に遭わないために、イヤホンで音楽を聴きながら、携帯電話を操作しながらの「ながら歩き」はしない、また、外出時は時々振り返ったりして周囲を警戒し、危険を感じたら「大声で叫ぶ・その場から逃げる」などの対応をとって欲しい。犯罪情勢についてはメールを利用して欲しい。

〈振り込め詐欺状況〉

- ・振り込め詐欺の被害が今年2件あった。近隣では春日部で約1,200件、久喜市で800件と件数が高い。犯人は無差別に電話をかけているので注意して欲しい。

【質疑応答】

上田（会長）：子どもへの声かけ事案についてはどんな内容だったのか。

戸邊（杉戸警察署）：下校中の小学校の女の子へ男が名前をしつこく聞く、誘うという行為があった。そのようなことがあった場合は、不要な情報を出さない、被害に遭わないよう子ども110番の家へ駆け込むなど逃げるのが大事である。

3. 町内自主防犯組織について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

4. 町実施事業について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

5. 防犯灯設置検討部会について

⇒資料に基づき、事務局より説明を行いました。

6. 意見交換

新井 (古利根地区連絡会)	新聞を賑わす事案はない。子どもたちの防犯意識が高いと感じる。杉戸警察署をはじめとする関係者のおかげである。
島村 (駅西口地区連絡会)	信号機の設置についてお聞きしたい。→(町回答) 設置については、埼玉県警察本部と協議をして決定している。不明な点があれば、相談してほしい。
高橋 (須賀地区連絡会)	和戸町内自主防犯会では会員27名が4班に分かれて夜間(夏場は午後6時から7時まで、冬場は午後5時から7時まで)パトロールをしている。学校の防犯パトロールとは別に実施している。拍子木を打ちながらパトロールをしており、防犯の意識づけができていていると感じている。
中川 (地域安全パトロール隊)	平成15年8月に発足して以来、警察署と協力し青色防犯パトロールを実施している。夜間(午後7時から8時30分)の活動である。高齢化が進んできているが今後も地域のため活動していく。夏祭りでも見守りを行っていく。
青柳(杉戸管内地域安全推進連絡協議会)	協議会の地域のメンバー41名が13班に分かれて、年末年始のパトロール、年2回の情報交換会を行っている。
林(日本工業大学)	4,100名の学生が通学している。大学入学時にはオリエンテーションを行い、防犯について教育、指導している。女子学生が帰り途中町内で声をかけられ腕をつかまれた。暗い道だったと聞いている。防犯カメラなどの設置はできるのか。→(町回答)カメラの設置計画はない。防犯灯の設置については、地元の考えもあることから、相談してほしい。
寺嶋 (宮代特別支援学校)	小・中・高と137名が通学している。侵入者に対する防犯意識の向上等のため、校内防犯研究会を夏休みに実施している。
森山(国納保育園)	埼玉県警や和戸駐在所の寸劇等、防犯教室を開催して指導している。侵入者対策として、職員間で合言葉でわかるよう防犯対策を行っている。

鈴木 (中学校代表 P T A)	学校や地域の方々から見守りいただき、生徒たちが安心して登下校できる環境づくりができています。地域で不審者が出たときなどは、保護者へ一斉メールを発信している。引き続きご協力をお願いしたい。
元木 (小学校代表 P T A)	先生方のご指導のおかげで、子どもたちの防犯に対する意識が高い。先日学校行事が長引いた日があったが、みんなで頑張ってお下校時刻に間に合わせたと聞いたところである。
籠宮 (百間中学校)	非行防止教室、薬物乱用防止教室を年に複数回実施している。今年度は SNS の利用の仕方について指導している。生徒たちが犯罪に巻き込まれないように、継続して実施していく。
會田 (須賀小学校)	区域内には自主防犯組織が多く、地域の方に見守られているのを強く感じている。下校時には最後の一人になるまで一緒に歩いてパトロール活動をしていただき、感謝している。学校では、4年生頃からスマートフォンを持っている児童が多くいるため、ネットアドバイザーを講師として招き、正しいスマートフォンの使い方など指導に取り組んでいる。
稲山 (副会長)	地域安全パトロール隊の一員である。不審者に思われぬよう子どもへの言葉のかけ方に悩むことがある。防犯については見て見ぬふりはせず、みんなと相談して情報を共有することが大事である。
上田 (会長)	地域の防犯灯が蛍光灯から LED になり、大変明るくなったと実感している。防犯については自主防犯組織や地域のつながりの大切さを感じている。